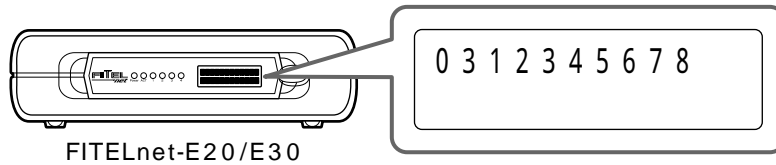


液晶ディスプレイに状態表示が可能

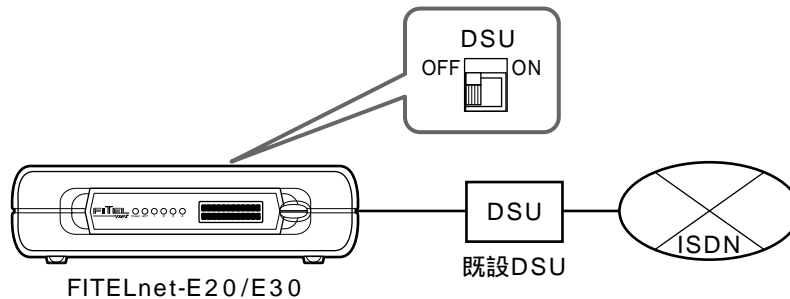
本装置には液晶ディスプレイがあり、その表示によって本装置の使用状況や発信 / 着信履歴などを簡単に確認することができます。



FITElnet-E20/E30

DSUスイッチで既設のDSUの利用も可能

本装置にはDSUが内蔵されており別途DSUを用意する必要はありませんが、現在DSUを設置している場合は、本装置のDSUスイッチでDSUを切り離し、既設のDSUに本装置を接続することも可能です。



FITElnet-E20/E30

通信事業者との回線契約

本装置は、ISDN、高速デジタル専用線をサービスする種々の通信事業者と接続することができます。ここでは、日本電信電話株式会社（以降NTT）を例にして、回線契約について説明します。NTT以外の通信事業者と回線契約する場合は、各通信事業者にご相談ください。

高速デジタル専用線（HSD）の契約条件

高速デジタル専用線を契約する場合は、高速デジタル伝送サービス（インタフェース）の基本インタフェース（回線速度64kbpsまたは128kbps以下）を指定してください。

HSDの場合、アナログポートは使用できません。

回線認定番号について

本装置はNTT回線の適合検査に合格した認定品です。INSネット64と契約する場合は、回線認定番号を連絡すれば、すぐに本装置を接続できますので、回線認定番号をあらかじめ控えておいてください。（回線認定番号は、INSネット64の申込票に記載する必要があります。）

回線認定番号は品名シールに記載されています。（P27）記載されている番号すべてを申込票に記載してください。

ISDNの契約条件

ISDNを契約する場合は、INSネット64を指定してください。本装置は、INSネット64の各種サービス（フレックスホンなど）に対応しています。また契約条件として、以下の事項に従ってください。

- (1) インタフェース形態およびレイヤ1起動種別
 インタフェース形態は、P-MP接続で契約してください。レイヤ1起動種別は、以下のように選択してください。
 - 本装置を単独でISDNに接続する場合...常時起動
 - 他のISDN装置（電話・FAX等）とパス接続する場合...常時起動または呼毎起動（他装置に合わせる）
- (2) 発信者番号通知サービス
 呼毎通知許可で契約してください。
- (3) ユーザ間情報通知サービス
 着信許可または着信拒否で契約してください。
- (4) 付加機能
 次のサービスを契約してください。
 - 通信中機器移動サービス（無料）
 - 通信中着信通知サービス（無料）

- フレックスホン（有料：コールウェイティング機能、三者通話機能、通信中転送機能、着信転送機能）
 ご利用になる機能を選択してください（本装置では4つの機能すべてに対応しています）。ただし、本装置をお使いの場合は、フレックスホンサービスをご契約でない場合でも、同様な機能をご利用になれます（疑似フレックスホン機能）。
- INSなりわけサービス（有料）
 本装置をお使いの場合は、なりわけサービスをご契約でない場合でも、同様な機能をご利用になれます（疑似なりわけ機能）。

フレームリレーの契約条件

FITELnet-E30は、フレームリレーを接続できます。フレームリレーを契約する場合は、国内のフレームリレーをサービスしている通信業者と契約してください。物理回線スピードは64kbpsもしくは128kbpsに対応しており、ITU-Tの規格に適合しているフレームリレー交換機と接続することができます。契約条件として、以下の事項にしたがってください。

(1) NTTフレームリレーサービス

FITELnet-E30に依存する契約内容（NTTフレームリレーサービス（第1種）契約申込書（2）に記載されている項目から）は次の通りです。

項目		設定内容
端末設備	DTE	FITELnet-E30
	製品名等 物理変換アダプタ	なし
CLLMサポート		サポート
PVC状態確認手順サポート	非同期	非サポート
	同期	片方向サポート / 端末（DTE）

第2種フレームリレーサービスをご利用の場合は、これらの設定内容が固定で設定されますので、記入の必要はありません。

(2) NTT以外のフレームリレーサービス

PVC状態確認手順（LMI）はITU-T：Q.933 Annex Aとさせていただきます。

DLCI番号は16から47の範囲で指定してください。

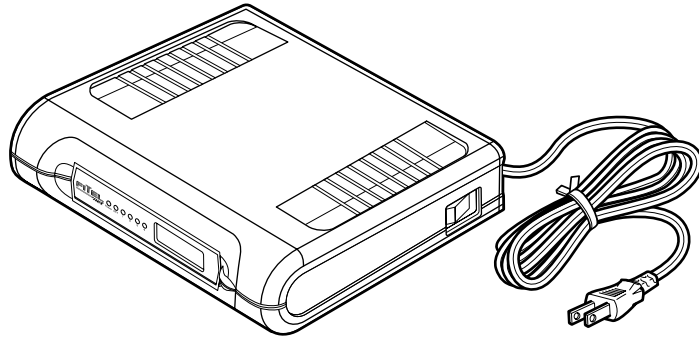
インターネットサービスプロバイダとの契約

インターネットにアクセスする場合は、サービスを提供するインターネットサービスプロバイダ（以下プロバイダ）に加入する必要があります。

- プロバイダへの加入は、料金やアクセスポイントなどを調べて行ってください。
- プロバイダに加入すると、ユーザID、パスワード、DNSサーバのIPアドレス、アクセスポイントの電話番号などが通知されます。
- これらの情報をもとに、必要な設定を行い、インターネットに接続してください。

セットを確認してください

本体



FITELnet-E20/E30

付属品

[FITELnet-E20/E30]

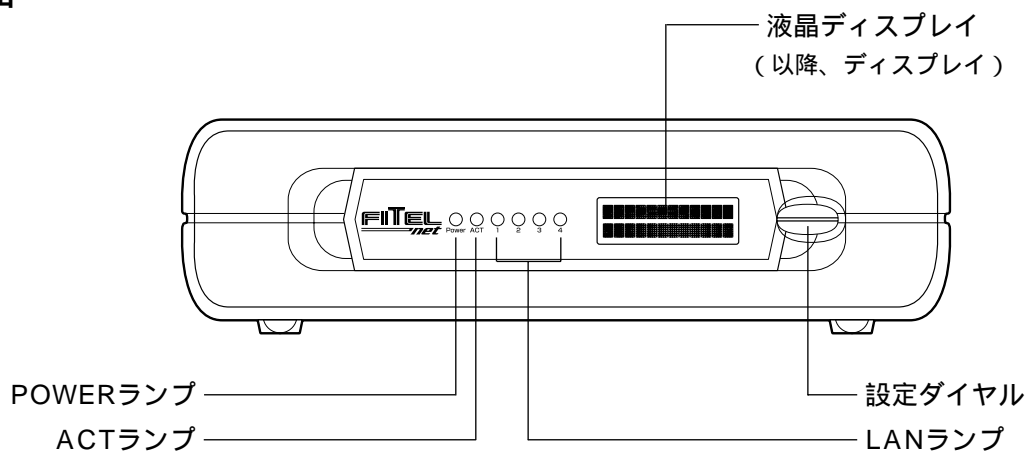
電話機コード (1本: 約3m)
10BASE-Tケーブル
シリアルケーブル (RS-232Cクロス)
FITELnet アナログ機能操作早見表
クイックスタートガイド

CD-ROM
• 取扱説明書 (本書)
• ATコマンドをお使いのときに
• クイックスタートガイド
• FITELnet アナログ機能操作早見表
• モデム定義ファイル

セットに不足があった場合、また取扱説明書に乱丁・落丁があった場合などは、弊社窓口等またはお買い求めになった販売店へご連絡ください。

各部の名称

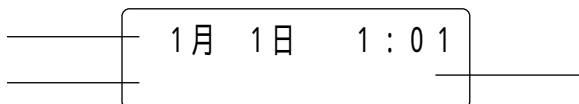
前面




各部の名称

ディスプレイに表示されるメッセージ一覧

データ通信中のディスプレイ表示



メッセージ	状況
PPP	PPP接続で通信中です。
MP	MP接続で通信中です。
	ISDNの常時接続中です。
P32	PIAFS 32kbps接続で通信中です。
P64	PIAFS 64kbps接続で通信中です。
D	Dチャンネルパケット通信中です。
A	モデム接続中です。
センヨウセン	OCN（その他専用線）接続で通信中です。
フレームリレー	フレームリレー接続で通信中です。
1	TEL1の電話が未使用です。
0	電話の受話器が外れています。
1	TEL2の電話が未使用です。
0	電話の受話器が外れています。

Bチャンネルを2回線使用して通信中のときは、通信の種類が2つ表示されます。

データ通信エラー時/データ通信切断時のディスプレイ表示

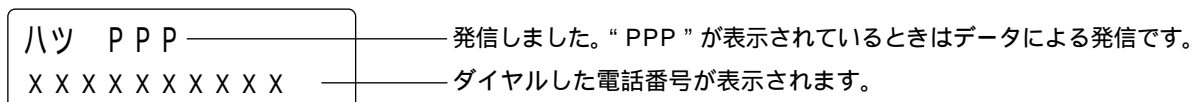
通信エラー時、通信切断時ともに同じメッセージが表示されます。



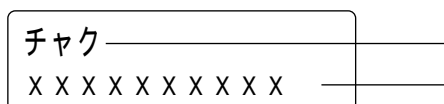
メッセージ	状況
ケツバン	欠番
モウヘノルートナシ	網へのルートがありません。
アイテヘノルートナシ	通信先に接続するためのルートがありません。
チャンネルリヨウフカ	Bチャンネルが利用できません。
(任意)	任意のメッセージを表示できます。 正常切断したときは「ツウシンオワリ」と表示されます。
アイテビジー	通信先がビジーです。
レスポンスナシ	通信先から応答がありません。
アイテオウトウナシ	通信先から応答がありません。
カニューシャナシ	通信先の電話番号は現在使われていません。

メッセージ	状況
ツウシンキョヒ	通信先から接続拒否されました。
バンゴウヘンコウ	通信先の電話番号が変更されました。
アイテコショウ	通信先が故障しています。
バンゴウエラー	無効番号フォーマット（不完全番号）
ソノタセイジョウ	その他の正常クラス
リヨウカカイセンナシ	Bチャンネルが使用中です。
モウショウガイ	網障害が発生しています。
イチジテキショウガイ	一時的な障害です。
コウカンキフクソウ	網輻輳が発生しています。
タンマツゾクセイエラー	端末属性が一致していません。
リンクエラー	リンクエラーです。
ドウキエラー	同期エラーです。
ソノタエラー	その他のエラーです。

発信時のディスプレイ表示



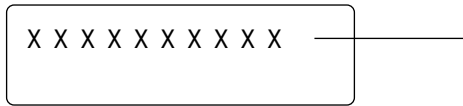
着信時のディスプレイ表示



メッセージ	状況
チャク PPP	データにより着信しました。
チャク	電話番号が通知されて電話がかかってきました。
XXXXXXXXXX (電話番号)	XXXXXXXXXXから電話がかかってきました。
ツウチキョヒ	発信者が番号通知を拒否して電話をかけてきました。(INSナンバー・ディスプレイを契約時)
ヒョウジ ケンガイ	INSナンバー・ディスプレイ未契約の電話、もしくは番号通知できない圏外などから電話がかかってきました。(INSナンバー・ディスプレイを契約時)
コウシュウデンワ	公衆電話から電話がかかってきました。(INSナンバー・ディスプレイを契約時)

各部の名称

電話切断時のディスプレイ表示



	メッセージ	状況
	XXXXXXXXXX (電話番号)	電話番号が通知されて電話がかかってきました。
	ヒツウチ	発信者が番号通知を拒否して電話をかけてきました。(着信の場合で、INSナンバー・ディスプレイを契約時)
	ヒョウジ ケンガイ	INSナンバー・ディスプレイ未契約の電話、もしくは番号通知できない圏外などから電話がかかってきました。(着信の場合で、INSナンバー・ディスプレイを契約時)
	コウシュウデンワ	公衆電話から電話がかかってきました。(着信の場合で、INSナンバー・ディスプレイを契約時)

リモートログイン表示

ftpデ
ログ インサレタイムス

ftpでログインされている場合
telnetでログインされている場合は「telnetデログインサレ
タイムス」となります。

E30FIRM

E30FIRMを受信中（パソコンから送信中）
上段はファイル名により異なります。

E30FIRM

E30FIRMを送信中（パソコンで受信中）
上段はファイル名により異なります。

E30FIRM
テンソウシュウリョウ

転送が終了しました。

E30FIRM
テンソウシッパ°イ

転送が失敗しています。
転送ファイルを確認して、再度転送し直してください。
電源OFF、再起動はしないでください。

E30FIRM
タイムアウト

転送がタイムアウトしました。
ネットワーク環境を確認して、再度転送し直してください。
電源OFF、再起動はしないでください。

各部の名称

ファームウェアが起動するまでのディスプレイ表示

```
Start up
error
```

メッセージ	状況
Start up error	ファームウェアの起動中、エラーが発生しました。もう一度本装置を起動し直してください。
Self test Executing..@	自己診断テスト中です。 「@」の部分は点滅します。
Self test error (xx)	自己診断テスト中にエラーが発生しました。(エラーコードxx) エラーコードよりエラー内容を確認し、対処してください。
Boot (v01.00) Executing..@	システムブート中です。(v01.00はファームウェアの版数) 「@」の部分は点滅します。
Boot (v01.00) error	システムブート中にエラーが発生しました。(v01.00はファームウェアの版数) 再立ち上げ後、再度表示される場合は弊社のサポートデスクへご連絡ください。
Broken Firm Need install	ファームウェアが壊れています。 再立ち上げ後、再度表示される場合は弊社のサポートデスクへご連絡ください。
Broken CONF Init by Push	構成定義エラーです。設定ダイヤルを2秒以上押してから離してください。 設定情報が初期化された状態で起動します。

その他のディスプレイ表示

```
1月 1日 12:00
メッセージ
```

メッセージ	状況
テイデン	停電中で、乾電池で動作中です。
バッテリー ロー	停電中で、乾電池により動作していますが、乾電池の残量が少なくなりました。

ランプ表示

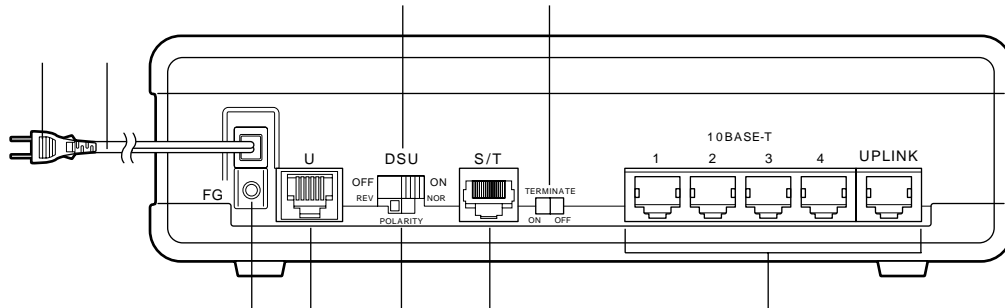
ランプ	動作
LAN1 ~ 4	10BASE-Tポートに接続されている機器と正常に接続している場合は、対応するポートのランプが点灯し、通信が行われると点滅します。
POWER	電源投入中を示し、通電中は点灯します。
ACT	WAN回線が正常に接続している場合は点灯します。

お知らせ

各ランプの点灯状態の組み合わせで、本装置および回線の状態を示します。組み合わせについては、「故障かな?と思ったら」を参照してください。(☛P285)

各部の名称

背面



電源プラグ

電源コード

FG端子

アースを接続します。(☛P31)

LINE Uポート

ISDN回線に接続します。(☛P29、30)

DSUスイッチ

本装置のDSUを使用する場合は「ON」、本装置のDSUを使用せずに、他のISDN機器のDSUを使用する場合は「OFF」を選択します。

極性設定スイッチ

DSUの極性を設定します。

デジタル通信機器ポート(S/T点)

デジタル通信機器(デジタル電話機、G4-FAX等)を接続します。(☛P29、30)

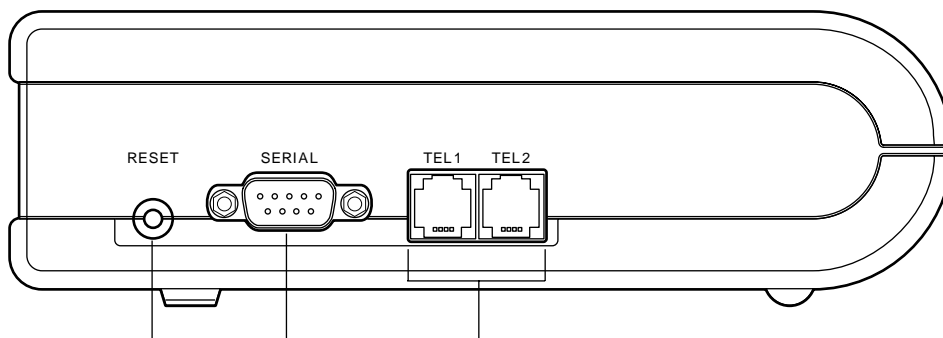
S/T点終端スイッチ

終端抵抗のあり/なしを設定します。

10BASE-Tポート

10BASE-Tケーブルで、HUBまたは端末と接続します。(☛P29、30) HUBと接続する場合は、「UPLINK」と書かれたポートに接続してください。この場合、4番ポートは使用できなくなります。

左側面



リセットスイッチ

本装置をリセットします。先端のとがったもので押してください。

シリアルポート

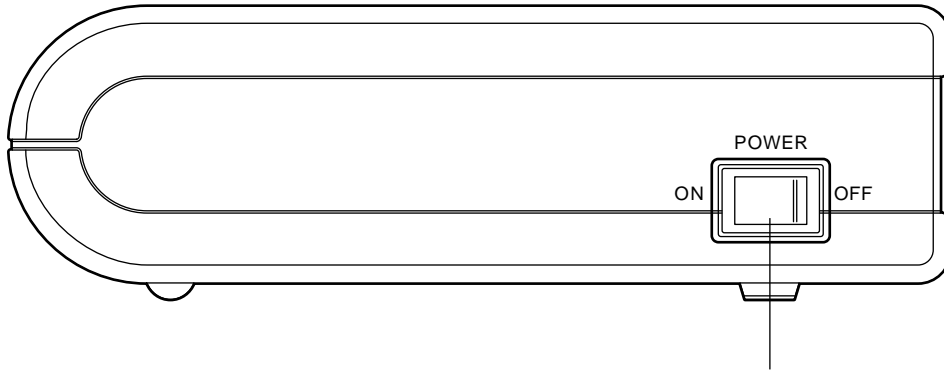
本装置の設定情報の設定を行う場合に、パソコンなどの端末を接続します。FITElnet-E20では簡易TA機能をご利用になれます。(☛P230)

FITElnet-E30ではモデムを接続し、アナログ回線を利用したルーティングもできます。(☛P218)

アナログ通信機器ジャック

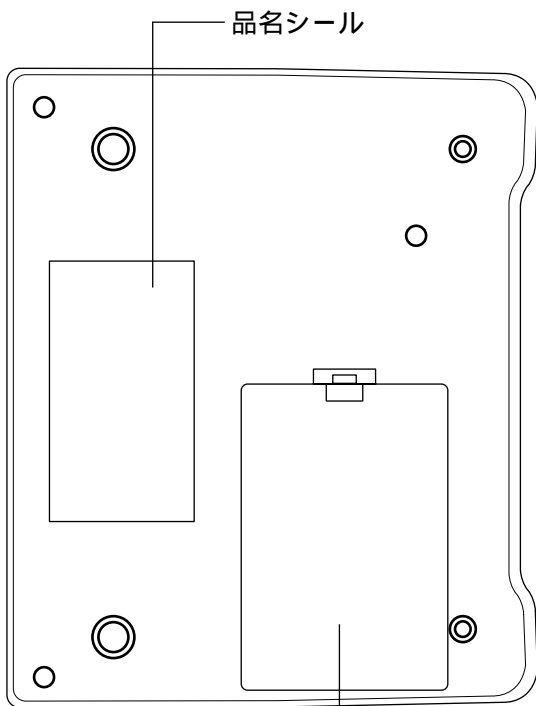
アナログ通信機器を接続します。(☛P29、30)

右側面

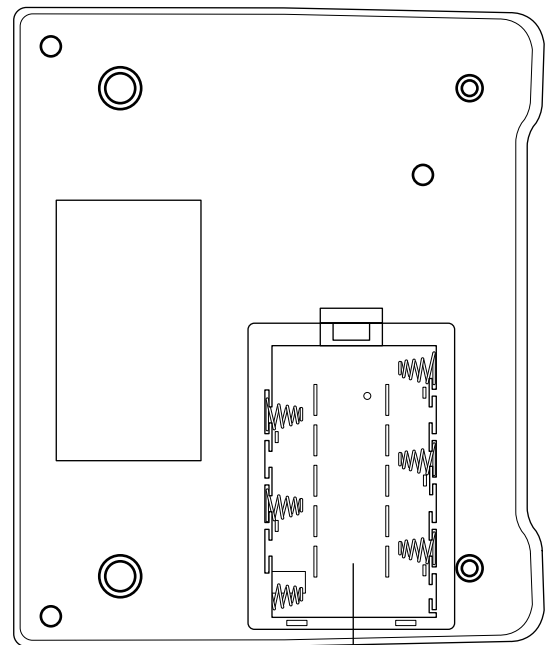


電源スイッチ
装置の電源をON / OFFにします。

裏面



乾電池カバー

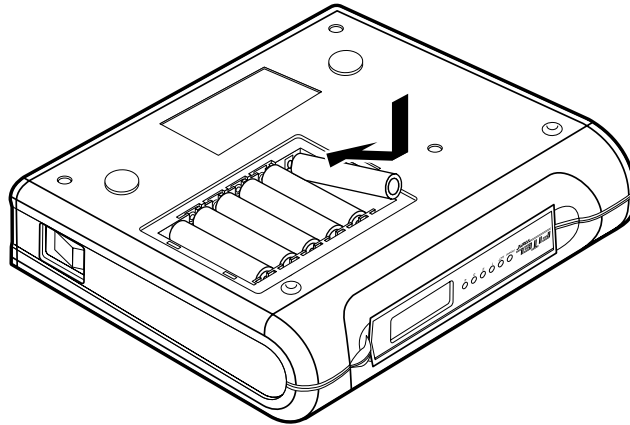


乾電池ホルダ

停電になったときのために

不意の停電の際でもTEL1ポートに接続した電話機での通話ができます。TEL2ポートおよびデータポートに接続した機器では通信できません。

- 1 乾電池カバーを開けて、乾電池ホルダに単3アルカリ乾電池を6本入れます。乾電池を入れるときは、プラス・マイナスの向きを確かめて入れてください。乾電池はお客様で、ご用意ください。



- 2 乾電池カバーを取り付けます。

お願い

本装置は、停電時にも電話による通話を確保する目的で、アルカリ乾電池によるバックアップ機能を持っています。しかし、バックアップ用にアルカリ乾電池を入れたままで、長時間ご使用になった場合、使用環境や電池自体の不良などにより液漏れを起こすことがあります。通常のご使用時は電池を外し、停電時のみ電池を装着されることをお勧めします。なお、アルカリ乾電池以外は絶対に使用しないでください。

お知らせ

停電になった場合、本装置は1度リセットし、乾電池により動作します。新品のアルカリ乾電池での待ち受け時間の目安を以下に示します。(電池メーカーにより多少のずれはあります。)

通話なし	通話
約6.0時間	約3.5時間

停電中は以下の機能は動作しません。

- 内線通話
- ルーティング機能
- 内線転送
- コマンド入力
- 追加呼出

パソコンの背面のコンセント等から本装置の電源をとっている場合に、パソコンの電源を切ると、停電時の動作と同じになる場合があります。電池が消耗します。電源はパソコンの背面以外のコンセントからとることをお勧めします。

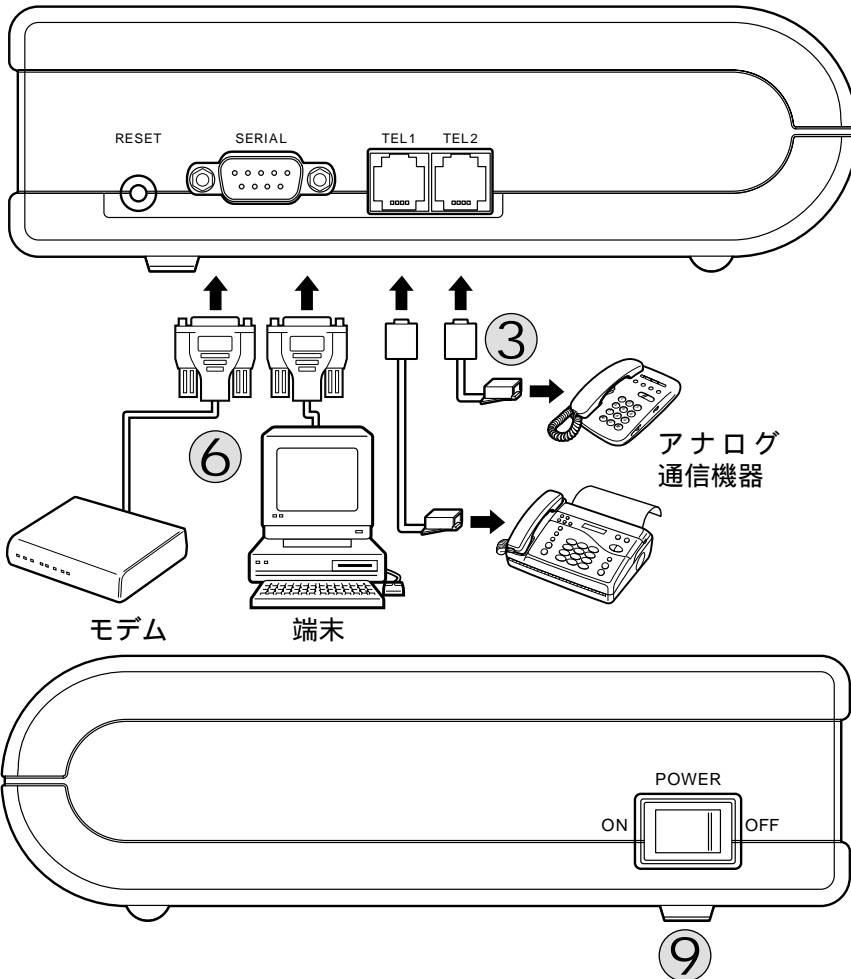
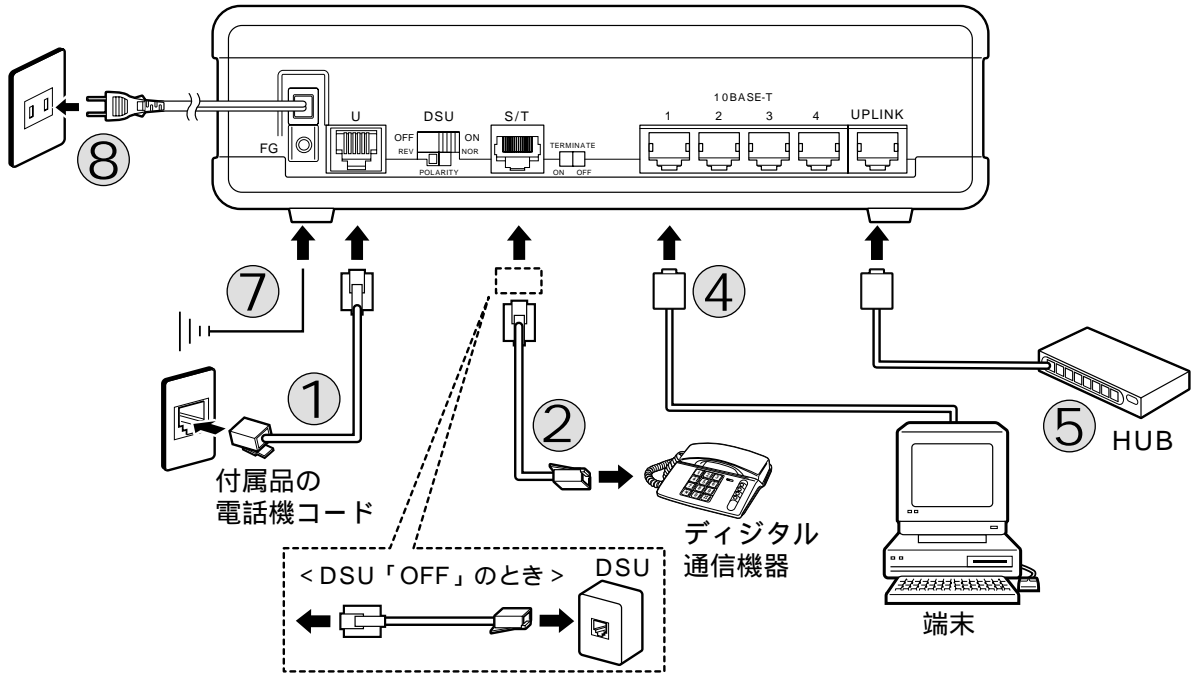
停電時に電池がなくなると、本装置のTEL1ポートも動作しなくなります。

停電中に電池が少なくなると、本装置のディスプレイに「バッテリー ロー」と表示されます。(←P24)

接続します

本装置には、LANに接続するための10BASE-Tポート、ISDNまたは高速デジタル専用線と接続するためのLINE Uポートがあります。

接続の手順



接続します

- ① INSネット64回線接続ジャック (LINE U) とINSネット64回線用モジュラジャックとのあいだを、付属の電話機コードでつなぎます。
- ② デジタル通信機器の電話機コードをデジタル通信機器接続ポートにつなぎます。本装置のDSUを使用しない場合は、DSUとデジタル通信機器ポートを接続します。
- ③ アナログ通信機器の電話機コードをアナログ通信機器接続ジャックTEL1ポート、TEL2ポートにつなぎます。
- ④ 本装置の10BASE-Tポートと端末を接続します。端末は1番～4番ポートに接続します。(“UPLINK”と書かれたポートには接続しないでください。)
- ⑤ 本装置の“UPLINK”と書かれたポートとHUBを接続します。HUBを接続している場合は4番ポートは使用できなくなります。
- ⑥ モデムを接続 (FITElnet-E30のみ) する場合は、モデムのシリアルポートと本装置のシリアルポートとのあいだをシリアルケーブル (ストレート) でつなぎます。端末と接続する場合は、端末のシリアルポートと本装置のシリアルポートとのあいだを付属のシリアルケーブルでつなぎます。
- ⑦ FG端子は第三種 (100 以下) の接地をしてください。アース線は、お客様でご用意ください。
- ⑧ 電源プラグを電源コンセント (AC100V) に差し込みます。
- ⑨ 電源スイッチをONにします。

本図は、アナログ通信機器およびデジタル通信機器の接続を概念的に示しています。実際の接続方法は、使用する機器や設置する場所などの使用状況にあわせる必要があるため、本図と異なる場合があります。

接続上の注意

ISDN / HSDの接続 / フレームリレーの接続

INSネット64、高速デジタル専用線(インタフェース64/128)フレームリレー回線64/128(FITELnet-E30のみ)以外の回線には接続しないでください。接続には付属品の電話機コードを使用してください。

電源との接続

電源プラグはAC100V(50Hzまたは60Hz)の電源コンセントに接続してください。

アースの接続

落雷等の電撃事故による人身、装置への損傷を防止するためにFG端子には必ずアース線を接続してください。

電話機・FAXの接続

TEL1ポート、TEL2ポートには、一般のアナログ回線に接続するプッシュ式(PB式)のアナログ通信機器(電話機、FAX等)が接続できます。1ポートのみ使用する場合は、TEL1ポートを使用してください。

また、ナンバー・ディスプレイ対応アナログ通信機器は、必ずTEL1ポートに接続してください。

HUB / 端末の接続

10BASE-TポートにHUBを接続する場合は“UPLINK”と書かれたポートを、端末を接続する場合は10BASE-Tポート1~4を使用してください。ただし、HUBを接続している場合は4番ポートは使用できません。

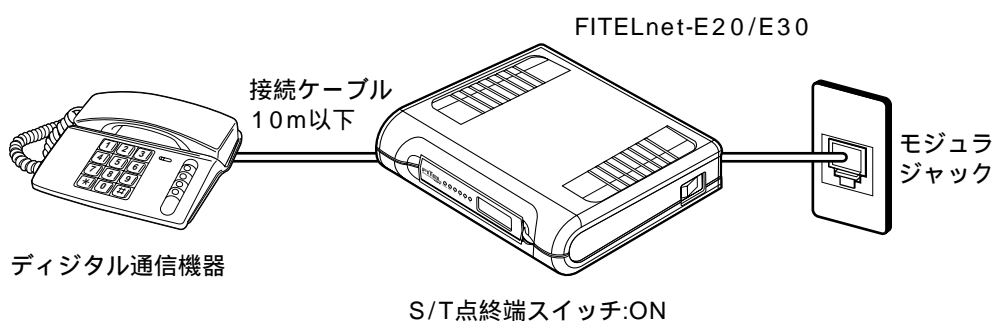
本装置の10BASE-TポートとHUB / 端末を接続する際は、HUB / 端末の電源をOFFにした状態で行ってください。

デジタル通信機器の接続

デジタル通信機器は、最大7台まで接続して使用できます。

接続する台数によって、S/T点終端スイッチの設定、配線方法が異なります。

デジタル通信機器を1台接続する場合、接続ケーブルが10m以下であれば、S/T点終端スイッチ(⇨P26)が「ON」の状態で使用できます。



デジタル通信機器の接続が1台で、接続ケーブルが10m以上の場合、および2~7台接続する場合は、S/T点終端スイッチを「OFF」に設定してください。また、本装置から見て、デジタル通信機器接続ジャックに接続した最遠端に位置するモジュラジャックには、必ず終端抵抗付きコネクタを使用してください。

シリアルポートへの接続

本装置のシリアルポートのコネクタの形状は9ピンオス形です。また、端末側のコネクタの形状は、ご使用の端末の機種により異なります。

また、本装置のシリアルポートと端末を接続する際は、電源をOFFにした状態で行い、ネジで固定してください。

DSUスイッチ

本装置のDSUを使用する場合は「ON」、本装置のDSUを使用せずに、他のISDN機器のDSUを使用する場合は「OFF」に設定してください。

「OFF」に設定した場合は、DSUをデジタル通信機器ポート(S/T点)に接続します。

お知らせ

ダイヤル式（DP式）のアナログ通信機器は使用できません。

（財）電気通信端末機器審査協会の適合認定を取得しているアナログ通信機器を接続してください。

一般のアナログ回線との仕様の違いにより、お使いいただけないアナログ通信機器もあります。

料金管理装置などを接続してご使用になると、NTTからの通話料金の請求額とは必ずしも一致しない場合がありますので、ご注意ください。

モジュラジャックの配線工事には資格が必要です。局番なしの116番（無料）またはNTT窓口等へお問い合わせください。

お願い

アナログ通信機器との接続に使用するケーブルの長さは、最長200m（0.5 ）を目安としてください。

屋外に渡る配線は行わないでください。故障の原因になります。

機器の接続に使用するコード類は、機器の付属のものを使うか、接続する機器に適合したものを使用してください。

デジタル通信機器の接続は、配線が全長で150m以下となるようにしてください。

1つのアナログ通信機器ジャックには1台のアナログ通信機器を接続してください。複数の通信機器を1つのポートに接続すると、使用できないことがあります。